

第5回 AHPNW ワークショップの開催報告

当センターは、2011年にAHPNW※(アジア・ヒートポンプ蓄熱技術ネットワーク)を設立し、アジアにおけるヒートポンプ技術の普及促進と技術向上に向けた情報の共有化を進めております。この度、5回目となるワークショップを2016年11月25日ジャカルタ(インドネシア)において、開催しました。ワークショップにおいては、参加国(インド・韓国・ベトナム・日本・インドネシア)から、ヒートポンプの政策、技術、市場動向など国内の最新状況について報告が行われました。今後もAHPNWでは、ヒートポンプ機器の普及促進、販促につながる活動を通

して、地球温暖化防止に貢献してまいります。

※AHPNW:P.1 参照。



講演者	「講演タイトル」 ●要旨
Agus Wismakumar氏 冷暖房熱流体技術研究所(インドネシア)	「Existing Professional Associations in Indonesia」 ●温暖化対策に向けた対応 — 各種省エネ関連団体の創設
石田 浩一 氏 ヒートポンプ・蓄熱センター(日本)	「Japan current situation to realize Cop21 objectives」 ●長期エネルギー需給見通しと日本のZEB定義
Pradeep Kumar氏 インドエネルギー資源研究所(インド)	●インド政府としての地球温暖化対策への取組 — インド国内でのヒートポンプの地位向上
Hoang-Luong PHAM氏 ハノイ工科大学(ベトナム)	「Heat Pump Technology in Vietnam」 ●高効率技術推進のため実施してきた政策面の展開、技術開発状況
Jun-Young CHOI氏 韓国産業技術試験院(韓国)	「Market analysis of heat pump system in Korai」 ●韓国のヒートポンプ市場の現状と分析とその将来展望